研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 2 年 6 月 2 9 日現在

機関番号: 3 1 5 0 1

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2017~2019

課題番号: 17H02303

研究課題名(和文)小規模映画における保存と修復及びアーカイヴに関する研究

研究課題名(英文)Research on Conservation, Restoration and Archive Storage/Retreival System for Alternative Cinema

研究代表者

加藤 到 (Kato, Itaru)

東北芸術工科大学・デザイン工学部・教授

研究者番号:90254854

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 12,500,000円

研究成果の概要(和文): 山形国際ドキュメンタリー映画祭を軸としてユネスコに映像文化創造都市として認定された山形市が、今後創造都市の名に恥じないような映像文化活動を行っていくうえで、映像アーカイブというキーワードを掲げることの意味と有効性を確認することができた。今後の山形市の映像文化は、映画祭と映像アーカイブの二つの機関が車の両輪となって進めていくことを方向付けることができた。映画祭とは祭りであり、神社から御神輿を持ち出して火を焚いてワイワイやって、またそれを元に戻して保管する。その戻す先が宝物殿であり、映像アーカイブである。

研究成果の学術的意義や社会的意義 本研究は人類の遺産としての映像記録を、どのようなシステムで後世に残していくことが可能かという学術的 課題と同時に、山形市におけるドキュメンタリー映像アーカイブ設立に向けた具体的なプラン検討を目的として

現在、現実的なアーカイブ設立構想が策定される段階であり、この時期にアーカイブについての概念や実際の運用方法などについて多くの事例をもとに議論できたことは大変有意義であった。 今回の研究成果が、今後のアーカイブ構想に有効利用されることを大きく期待している。

研究成果の概要(英文): This project has revealed the importance and benefits of film archiving practice among cultural activitiés on moving images that Yamagata City will continuously promote as a UNESCO Creative City of Film. We conclude that both the Yamagata International Documentary Film Festival and a film archive project should play a leading role in tandem in the city's film-based cultural activities.

In a Shinto festival for example, people carry around a portable shrine mikoshi, celebrate over a bonfire and then bring it back to the repository for further preservation. The film archive is to the film festival what the repository is to the portable shrine.

研究分野: 実験映画・ドキュメンタリー

キーワード: ア<u>ー</u>カイブ フィルム デジタル ドキュメンタリー映画祭 保存修復 テレシネ デジタイズ 実験

映画

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

1.研究開始当初の背景

1989年に始まって、今年で、16回目、30周年の開催を終えた山形国際ドキュメンタリー映画祭は、山形市の映像文化活動の核として、2017年ユネスコ創造都市ネットワーク加盟認定への最大の要因であったと言える。国内外から映像文化創造都市として認知された山形市が次に取り組むべき課題として映像アーカイブセンターの設立が求められている。

東北芸術工科大学を中心に展開した前回の科研費プロジェクトでは、デジタルシネマ時代における上映形式や保存、修復、アーカイヴについて、主に小規模映画という視点から研究を続けてきた。これらの研究活動を経て、非商業的な小規模映画を保存、利活用していくことの社会的意義が確認され、現実的にアーカイブセンター設立の重要性が浮上してくることとなり、実現に向けた具体的なプラン作成へ向けて研究がすすめられた。

2.研究の目的

2017 年山形市はユネスコ創造都市ネットワークに映画部門として国内で唯一、初めて加盟認定された。この認定を受けた背景には 1989 年より隔年開催されてきた山形国際ドキュメンタリー映画祭の存在が大きい。

当初山形市の主催で開始されたこの映画祭は、2007年より NPO へと独立、さらに 2014年からは認定 NPO 法人として発展し、2018年には米国アカデミー賞の公認映画祭となるなど目覚ましい発展を遂げてきた。

本年 10月に開催された、山形国際ドキュメンタリー映画祭 2019 のコンペティション部門には、130の国と地域から過去最高の 2.371 本の作品がエントリーされた。

一方、これまでの山形映画祭にエントリーされた多くの作品は、山形市北部に 1994 年設置された山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーに保存されているが、その保存状況や、利活用の実態は決して充分なものとは言えない。

その様な現状の中で、山形市では現在市内中心部の「まなび館」(旧第一小学校)を再リノベーションし、創造都市の拠点となる施設の建設に着手しようとしている。

本研究では、このリノベーション計画とも連携を持ちながら、国際ドキュメンタリー映画祭を 主軸とする山形市の映像文化の中核となるべき映像アーカイブセンターの設立構想を導き出す 事を目指した。

3.研究の方法

(1)山形国際ドキュメンタリー映画祭とアーカイブとの関係性

現在、世界中の各都市で開かれている国際映画祭を俯瞰したとき、その成立意義は、映画産業における市場見本市であることが一般的だ。世界各国から映画の配給に携わるバイヤーたちが訪れ、自国に紹介することで商業的価値を生むであろう作品の配給権を獲得するためのマーケットとして機能しているわけだ。

こういった側面は山形国際ドキュメンタリー映画祭にもないわけではなく、一部の作品については、山形映画祭が商業ベースでの成功のきっかけとなっているケースも多々見受けることができる。

しかし、個人または小規模な制作体制で制作される、セルフドキュメンタリーや、実験的な映像作品、学生作品など、あるいはその上映時間が数時間以上に及ぶ超長編作品など、映画産業の

市場的価値とは直接結びつかないが、人類の遺産として、映画の歴史の1頁として絶対に保存しておかなければならない価値を有している作品も数多い。

そこで、映画祭の存在意義を、マーケット型から、アーカイヴ型へシフトしてみることが有効となってくる。商業的価値につながるかよりも、人類の歴史に残るかという価値を映画祭が保証していくという映画祭の新たなスタイルが成立すると考えられる。

(2) 既存の山形国際ドキュメンタリーフィルムライブラリーの問題点整理

山形市がドキュメンタリー映画祭を初めて3回目の1993年ごろから、映画祭終了後に残った、フィルム作品のプリントや、予備先行のために送られてきた膨大な数のVHSテープ、DVD等の保管場所が必要となり、当時、山形市内に建設計画が検討されていたコンベンションセンターの1画に、山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーが建設されることとなった。2018年度現在で約15,000本の作品が保管されている。

温度、湿度を管理できるフィルム保管庫のほか、収容人数 40 人ほどの試写室、ビデオブース等を備え、作品の貸し出しや、ビデオブースでの閲覧、試写室を使っての上映会などを企画しているが、その管理の実態は決して充分とは言えない。

山形市からの指定管理者であるコンベンションビューローから、さらに委託をうけた認定 NPO 法人山形国際ドキュメンタリー映画祭が、嘱託職員 1 名を配置して最低限の業務をこなしているのが実状で、施設の老朽化等に対策するための予算の見込みは全くない状況だ。

また、立地条件も悪く、山形市中心部から車で 15 分ほどの距離とはいえ、自家用車を持たない、学生や、旅行者にとっては、バスや、電車等の公共交通機関を使うことは、あきらめざるを得ない環境だ。

この、山形映画祭が継続されてきたゆえの財産を今後も保存し続け、利活用していくためには、 新たなアーカイブセンターの仕組みとの連携が最も現実的だと考えられる。

(3) ドキュメンタリー映像に特化させたアーカイブ活動とは?

国内に現存する公共フイルムアーカイブは、国立映画アーカイブを中心にして、川崎、京都、 広島、福岡に設置され、それぞれの特徴を持ってアーカイヴ活動を展開しているが、多くは日本 の劇映画を中心とした収集活動を中心としており、非商業的な、小規模映画やドキュメンタリー 映画に重点を置いているアーカイブは存在しない。

それぞれのアーカイブがその特徴を生かしながら互いにネットワークを形成することは今後 ますます期待されることで、そういった意味においても山形でのアーカイヴ活動が、ドキュメン タリーや小規模映画に特化されることが期待されている。

(4) 東北地方、裏日本唯一のアーカイブセンターの意義

前項で説明したように、国内の既成の公立フイルムアーカイヴは、東京の京橋に本部のある国 立映画アーカイブ以北には一つもない。

東北、北海道という、民俗学的にも非常に重要な地域の映像資料の保存修復活動は、国家的な 重要プロジェクトの一つと言うことができる。また、現在移転準備中の東京国立近代美術館工芸 館の石川県移転計画の中にも触れられているように、日本海側に国立美術館が一つもなかった ことを踏まえて、工芸部門でのユネスコ認定を受けている創造都市金沢市への移転することは、 同じ日本海側の山形市に公立アーカイブを設置するうえでの大きな参考事例となることだろう。

(5) デジタルアーカイヴ技術への対応 (デジタルネットワーク化)

今回の研究に先んじた二つの関連研究では主にデジタル映像の上映形式、保存修復活動に取り組んできた。当然ながら、デジタルシネマが全盛となっている現代において、アーカイビングもまた例外なくデジタルの時代を迎えている。

完璧な複製あるいはオリジナルそのものとも言えるデジタルデータをどのように保存し、利 活用していくかも今回の研究における重要なテーマである。

(6) 国内外の既存アーカイブとの連携活動の可能性(北インド、沖縄、他)

国内外のアーカイブとの連携も重要なテーマとなる。

今年開催された山形国際ドキュメンタリー映画祭では、インド北東部に発足した「インド北東部視聴覚アーカイブ」と映画祭との提携協定が結ばれた。長年の政情不安の中でこの地域の視聴覚文化を未来に残すためにも、山形映画祭との提携を結んでデジタルデータを共有し、不測の事態から保護することを目標に掲げている。

国内では、沖縄アーカイブ研究所の活動が注目される。琉球王国から米軍支配へとつながる特別な時代背景の中でアーカイブの哲学が醸成されてきた地域性を生かし、個人が保存収集してきたプライベートな映像の価値を再評価しようとしている。

(7) 東北地域の他大学と東北芸術工科大学との連携

山形市における映像アーカイブ設立を考えるうえで大学のかかわり方は特に重要である。このプロジェクトの中心となる東北芸術工科大学には、文化財保存修復学科が存在する。現時点ではフィルムや視聴覚資料に対しての専門的なコースは存在しないが、山形の映像文化の未来を考えた時には、日本初の映像資料の保存修復を専門にしたカリキュラムを持つ大学としてアピールすることも検討する価値があるだろう。

山形大学では、2014 年人文学部に映像文化研究所を設立し、アンドレ・バザン研究等、学術的な視点から映像文化の研究に取り組んでいる。

山形市の大学だけではなく、仙台地域をはじめとする、東北地域の大学とも広く連携し、 震災復興や、地域おこし、インバウンド対応や、観光資源と映像文化との連携も視野に入れた研 究が必須である。

4.研究成果

この研究で行われてきた数々のシンポジウムや講演、ワークショップ等によって、今後の山形市が「映像アーカイブ」というキーワードを掲げることの意義がしっかりと確認されることとなった。今後「映像アーカイブ」は「山形国際ドキュメンタリー映画祭」と伴に山形市の映像文化をけん引する車の両輪として機能していくことになっていくことだろう。

コロナ禍の状況の中で今後の映画祭の在り方が再検討されてくることになる。特にこれまでの 山形映画祭に於いては、作品上映後の密な環境における話し合いの場を重要視している点が高 く評価されてきたが、その状況が許されなくなった今、映像作品をアーカイブすることを大きな 目的として掲げる映画祭に大きな未来的意義が含まれていることを忘れてはならない。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件)

【雑誌論文】 計13件(うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件)	
1.著者名	4 . 巻
田口かおり	3 3
2	F 384=7F
2.論文標題	5.発行年
ジャン=フランソワ・ミレー《角笛を吹く牛飼い》調査修復報告書	2019年
	6.最初と最後の頁
山梨県立美術館紀要	7-11
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
田口かおり	1
2.論文標題	5 . 発行年
2030年:保存修復の倫理(エシクス)	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『2030年の美術館』TOYOTA ART MANAGEMENT	1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
 オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- -
1.著者名	4 . 巻
田口かおり	1-1
2.論文標題	5.発行年
アーカイヴと表象文化論の現在	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『REPRE21』表象文化論学会	1-1
TCFNC21』农家义化調子云	1-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
はし	無
オープンアクセス オープンアクセフトしている(また、その予定である)	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
阿部宏慈	1
2.論文標題	5 . 発行年
「見ることの愉悦と責務 『孤独な存在』『また一年』・・・」	2017年
	·
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Sputnik YIDFF Reader 2017	9 - 1 0
48 = 1 · A · A · A · A · A · A · A · A · A ·	***
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

***	T . w
1 . 著者名	4 . 巻
阿部宏慈	1
2.論文標題	5.発行年
山形映画祭「ここが見どころ(1)インターナショナル・コンペ部門 」	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
山形新聞他	15-15
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4.巻
田口かおり	5
шплю о	
2.論文標題	5.発行年
「近現代美術の「臭気」をめぐる一考察」	2017年
	(目がし目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『ディアファネース』	5 5 - 6 3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
田口かおり	1
HI 30 7	·
2 . 論文標題	5 . 発行年
「イタリアにおける保存修復理論の発展史」「論点提示と解題」	2017年
「ブラブにのける外行呼及注酬の元成文」「調本派がこれを」	2017—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『文化遺産がつなぐ世界と日本-保存・修復・活用と国際交流』	11-24
- 又化退性かりは、世界とロ本・体仔・修伎・冶用と国際文派』	11-24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	有
 ナーポンフカ レ フ	同 你 + 苯
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
石崎武志	1
2 . 論文標題	5.発行年
地方における映像アーカイブの可能性	2020年
	·
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書	4 ~ 11
	7 !!
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
' & ∪	////
オープンアクセス	国際共著
	四际六百
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•

*** ***		
2 : 論文権題 30プリンタによるフィルム映像長青の部品試作 2020年 3 : 結誌名	1 . 著者名	4 . 巻
30 プリンタによるフィルム映像装置の部品試作 2020年 3 ・ 相談名 6 ・ 最初と最後の頁 28 - 31 28 を	馬場一幸	1
30 プリンタによるフィルム映像装置の部品試作 2020年 3 ・ 相談名 6 ・ 最初と最後の頁 28 - 31 28 を		
3 ・結議を	2.論文標題	5.発行年
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究総告書 28-31	3Dプリンタによるフィルム映像装置の部品試作	2020年
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究総告書 28-31		
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究総告書 28-31	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
機能論文の0001(デジタルオブジェクト識別子)なし 田原共著 日原共著 1 1 著書名 1 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2	** *** * *	
### ### ### ### #####################	小院供吹回にのける体行と呼吸及びアーカインに関する別九報百首	20 - 31
### ### ### ### #####################		
### ### ### ### #####################		本共の大畑
1 著名名 阿郡安慈 1 著名名 阿郡安慈 2 . 論文標題 用び失われた時を求めて 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 1 . 著名名 北小路隆志 1 . 著名名 北小路隆志 2 . 治文標題 アーカイブンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著名名 北小路隆志 2 . 治文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 5 . 発行年 2020年 2 . 治文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12-19 掲載論文の201 (デジタルオブジェクト識別子) なし 1 . 著名名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 4 . 巻 1 . 著名名 1 . 著名名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 5 . 発行年 2020年 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて,報告 3 . 雑誌名 ハ規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 1 . 著名名 加藤到 2 .		
***	なし	無

1. 著者名	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
阿部宏慧 1 2 . 論文標題 再び失われた時を求めて 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 32~53 根数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 国際共著 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著名名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文課題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1 . 著名名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文課題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 過りと最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 急力と最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 最初と最後の頁 20-23 1 . 最初と最後の頁 20-23 2 . 最初と最後の頁 20-23	TO THE PARTY OF TH	
阿部宏慧 1 2 . 論文標題 再び失われた時を求めて 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 32~53 根数論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 国際共著 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著名名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文課題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし 国際共著 1 . 著名名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文課題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 過りと最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 急力と最後の頁 20-23 1 . 養 1 2 . 最初と最後の頁 20-23 1 . 最初と最後の頁 20-23 2 . 最初と最後の頁 20-23	1 527	/ *
2 . 論文標題		
再び失われた時を求めて 2020年 3 . 雑誌名	问部 宏慈	1
再び失われた時を求めて 2020年 3 . 雑誌名		
再び失われた時を求めて 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 32-53 掲載論文の001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 巻 1 1 . 著名名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12-19 オープンアクセス 国際共著 1 . 著名名 加勝到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 4 . 巻 1 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文の0001 (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	2.論文標題	5.発行年
3 . 雑誌名	再び失われた時を求めて	
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 32-53 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌表 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 1 . 著者名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	130700 13000 2300 2	
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 32-53 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 オーブンアクセス 国際共著 1 . 著者名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌表 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12-19 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 重際共著 1 . 著者名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 なし オープンアクセス 国際共著	3、独社夕	6 是初と早後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
### オープンアクセス 国際共著 1 著者名 1 2 2	小枕候映画における味仔と修復及ひどーカイノに関する研究報告書	32 ~ 53
### オープンアクセス 国際共著 1 著者名 1 2 2		
### オープンアクセス 国際共著 1 著者名 1 2 2		
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 著者名 北小路隆志 - 1 2 :論文標題	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 北小路隆志 4. 巻 1 2. 論文標題 アーカイプの創造性/創造の場としてのアーカイプ 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 1. 著者名 加藤到 4. 巻 1 2. 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	なし	無
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 北小路隆志 4. 巻 1 2. 論文標題 アーカイプの創造性/創造の場としてのアーカイプ 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 1. 著者名 加藤到 4. 巻 1 2. 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		~~~
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1. 著者名 北小路隆志 4. 巻 1 2. 論文標題 アーカイプの創造性/創造の場としてのアーカイプ 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 重際共著 1. 著者名 加藤到 4. 巻 1 2. 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5. 発行年 2020年 3. 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オープンアクセス	国際土著
1 . 著者名 北小路隆志 4 . 巻 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 1 . 養者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	=	
北小路隆志 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	オーノファクセスではない、 又はオーノファクセスか困難	-
北小路隆志 1 2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		
2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12 - 19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	1.著者名	4.巻
2 . 論文標題 アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12 - 19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	北小路隆志	1
アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 2000年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 本ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著		
アーカイブの創造性/創造の場としてのアーカイブ 2000年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 本ーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難 国際共著 1 2 . 論文標題 シンボジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オーブンアクセス 国際共著	2 論文種類	5 発行在
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 査読の有無 据載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名加藤到 4 . 巻 2 . 論文標題シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年2020年 3 . 雑誌名小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無無無 オープンアクセス 国際共著	······	
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名加藤到 4. 巻 2. 論文標題シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5. 発行年2020年 3. 雑誌名小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オーブンアクセス 国際共著	アーカイブの創造性/創造の場合してのアーカイブ	20204
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 12~19 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オープンアクセス 国際共著 1. 著者名加藤到 4. 巻 2. 論文標題シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5. 発行年2020年 3. 雑誌名小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6. 最初と最後の頁20-23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし 査読の有無 オーブンアクセス 国際共著	104.6	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし		
# 本 ガーブンアクセス	小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書	12 ~ 19
# 本 ガーブンアクセス		
# 本 ガーブンアクセス		
# 本 ガーブンアクセス	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 5 . 発行年 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20-23		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20~23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		***
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20~23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著	+ 1,7047	
1 . 著者名 加藤到 4 . 巻 1 2 . 論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 6 . 最初と最後の頁 20~23 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 査読の有無 無 オープンアクセス 国際共著		国际共者
加藤到12.論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告5.発行年 2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	オーフンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	-
加藤到12.論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告5.発行年 2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
加藤到12.論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告5.発行年 2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	1.著者名	4 . 巻
2.論文標題 シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告5.発行年 2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		_
シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著		
シンポジウム「新たな創造都市拠点設立に向けて」報告2020年3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書6.最初と最後の頁 20~23掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし査読の有無 無オープンアクセス国際共著	ᄼᄼᅶᆇᆉᄪᄧ	c ※/=/左
3.雑誌名 6.最初と最後の頁 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 20~23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 20~23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著	ンンホンワム・新たな創造都市拠点設立に向けて」報告	2020年
小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書 20~23 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 なし 無 オープンアクセス 国際共著		
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	3.雑誌名	6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書	20~23
なし 無		
なし 無		
なし 無	<u>しま</u> ・ 退載論文のMI(デジタルオブジェクト辨別スト	
オープンアクセス 国際共著	19年2月 スリン・・ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ノ ト 可のリコー)	
		1111

	なし	
・ ファン・これではない 人には ファン・これが 田本	なし	
	なし オープンアクセス	

1.著者名 石崎武志	4.巻
2 . 論文標題 山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの収蔵庫内の温湿度測定結果	5.発行年 2020年
3.雑誌名 小規模映画における保存と修復及びアーカイブに関する研究報告書	6.最初と最後の頁 56~57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

	A-1 101				- 111 -
字会発表	三計12代年(′ つち招待講演	1件 /	/ うち国際学会	()(牛)

1.発表者名 阿部宏慈

2 . 発表標題

II Festival internazionale dei film documentari di Yamagata

3 . 学会等名

Caleidoscopio Giappone: Arte, cinema e poesia da Yamagagta a Bologna (招待講演)

4 . 発表年 2019年

1.発表者名

田口かおり

2 . 発表標題

美術作品の保存修復における光学調査の射程:ヴィンセント・ヴァン・ゴッホの油画をめぐる新発見を中心に

3 . 学会等名

レーザー学会第39回年次大会公開特別講演会

4.発表年

2019年

1.発表者名 田口かおり

2 . 発表標題

美術作品の保存修復と光学調査 調査のケーススタディ

3 . 学会等名

東海大学x東京都市大学ジョイントシンポジウム

4.発表年

2019年

1. 発表者名
馬場一幸
o 7X-1455
2.発表標題
今日の映像は何になろうとしているか
3. 学会等名
映文連 技術セミナー「最先端技術で拡がるコンテンツ活用」
4.発表年
2019年
1.発表者名
加藤到
2 . 発表標題
映像ネットワークVIEWの時代
White is a strengeral A
3.学会等名
北海道道立近代美術館
70/年尼巴亚亚代大州市
4.発表年
2019年
4 77 7 4 6
1. 発表者名
加藤到
o TV-t-EEE
2.発表標題
パーソナルフォーカス「滅びゆくメディアのために」
3.学会等名
イメージフォーラム
4.発表年
2017年
1.発表者名
加藤到
2 . 発表標題
サヴァイバル8「ヴィンテージ・ミル」
3. 学会等名
山形国際ドキュメンタリー映画祭
4 . 発表年
2017年

1 . 発表者名 田口かおり
2 . 発表標題 『イメージの時空間 映像アーカイヴの多角的展開にむけて』
3 . 学会等名 山形国際ドキュメンタリー映画祭関連シンポジウム
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 田口かおり
2 . 発表標題 「今、保存修復の使命とは」
3 . 学会等名 アーツカウンシル東京 + 東京大学 + 東京藝術大学共同シンポジウム
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 北小路隆志
NO.3 PERFECT
2 . 発表標題 『イメージの時空間 映像アーカイヴの多角的展開にむけて』
3 . 学会等名 山形国際ドキュメンタリー映画祭2017関連シンポジウム
4.発表年 2017年
1.発表者名
北小路隆志
2 . 発表標題 『イメージの時空間 映像アーカイヴの多角的展開にむけて 2 』
3 . 学会等名 山形国際ドキュメンタリー映画祭2019関連シンポジウム
4.発表年 2019年
2010T

1.発表者名 加藤到	
2.発表標題	
「新たな創造都市拠点設立に向けて」	
WITCHARD THE PROPERTY CO.	
- WARE	
3.学会等名	
山形国際ドキュメンタリー映画祭2019関連シンポジウム	
4.発表年	
2019年	

〔図書〕 計1件

4 . 発行年 2019年
5.総ページ数 198

〔産業財産権〕

〔その他〕

6.研究組織

0	,研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	屋代 敏博	東北芸術工科大学・デザイン工学部・准教授		
研究分担者	(Yashiro Toshihiro)			
	(00453374)	(31501)		
	阿部 宏慈	山形大学・人文社会科学部・教授		
研究分担者	(Abe Kouji)			
	(10167934)	(11501)		
研究分担者	馬場 一幸 (Baba Kazuyuki)	目白大学・メディア学部・専任講師		
	(20621791)	(32414)		

6.研究組織(つづき)

6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	根岸 吉太郎	東北芸術工科大学・事務局・理事長	
研究分担者	(Negishi Kichiitarou)		
	(20626147)	(31501)	
	藤本 かおり(田口かおり)	東海大学・創造科学技術研究機構・特任講師	
研究分担者	(Fujimoto Kaori)		
	(60739986)	(32644)	
	石崎 武志	東北芸術工科大学・文化財保存修復研究センター・教授	
研究分担者	(Isizaki Takeshi)		
	(80212877)	(31501)	
	北小路 隆志	京都造形芸術大学・芸術学部・教授	
研究分担者	(kitakouji Takashi)		
	(90649831)	(34319)	
	藤岡朝子	山形国際ドキュメンタリー映画祭・理事	
研究協力者	(Fujioka Asako)		
	畑 あゆみ	山形国際ドキュメンタリー映画祭・事務局長	
研究協力者	(Hata Ayumi)		
	石井 義人	シネマトグラファー京都・代表	
研究協力者	(Ishii Yoshito)		
	小川 直人	せんだいメディアテーク・企画・活動支援室・映像部門学芸員	
研究協力者	(Ogawa Naoto)		